

単元名:ビデオレターで我が家を紹介

科目名	中国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	住まい	言語レベル	1	必要時間数	6~7時間

I 単元目標

中国の交流校の高校生と彼らを受け入れるホストファミリーの間で住まいや家族を紹介するビデオレターを交換し、日中の住まいに関する事柄について相互に理解を深めることができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆ホームステイに来た交流校の生徒と、お互いのビデオレターの内容をもとに、両国の住宅環境などについて日中両言語で話し合うことができる。 ◆ハルビンの生徒の家のビデオを見て、家の環境・家のなかにあるものについての中国語の説明を聞き取ることができる。 ◆ホストファミリーの協力を得て撮影したビデオに、中国語と日本語で説明を加えることができる(各部屋の名称、部屋の中にあるもの、使い方の注意等)。 ◆協力してくれたホストファミリーの家に同行し、住まいのことについて積極的に話をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆間取りや住環境について、日中の共通点・相違点を比較考察することができる。 ◆玄関で靴を脱ぐか、浴室はどのように使うかなど、住居に関する習慣やマナーについて比較考察し、中国滞在時に留意しなければならないことを理解することができる。 ◆日中の住環境、住習慣の異同に配慮し、相手に伝わりやすい説明をすることができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆協力して撮影したり、音声の解説を入れたりして、ビデオレターを作成することができる。(協働・情報活用) ◆来日前に提供したほうがよいと思われる情報を検討し、可能な限りビデオに収めることができる。(高度思考・情報活用) ◆世界の住居問題について考えることができる。(知識理解) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。

コミュニケーション能力指標	<p>【住まい】</p> <p>1-a. 各部屋(台所、トイレ、寝室、居間など)の名称を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>1-b. 部屋のなかにあるもの(机、ベッド、本棚など)を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>1-c. 自分が住んでいる所(自宅か学校の寮か、何階か、一軒家かなど)について、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>
---------------	---

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆各部屋の名称や家具・置かれているものの名前などのマッチングをする。(発音や聞き取りの正確さ、内容理解) ◆インタビューシートを作って、インタビューしあう。(表記・表現の正確さ、発音や聞き取りの正確さ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビデオレターを作成する。(発音の正確さ、説明の適切さ、独創性、表現方法の豊かさ、効果的でわかりやすい撮影方法や編集方法等) ◆中国から送られてきたビデオを見て、内容を理解する。(聞き取りの正確さ、辞書などの利用、推測力等) ◆お互いのビデオレターの内容をもとに両国の住宅環境などについて日中両言語で話しあう。(発言の積極さ、コミュニケーション・ストラテジー、内容理解、考察の視点等)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆各部屋(台所、トイレ、寝室、居間など)の写真と名称カードのマッチングをする。【1-a】</p> <p>◆部屋の中にあるもの(机、ベッド、本棚など)が違う2種類の絵を用意し、2人1組でそれぞれの部屋にあるものを紹介する。相手の部屋の様子を聞きとって図示し、合っていたか確認し合う。(インフォメーション・ギャップを使った練習)【1-b】</p> <p>◆自分が住んでいるところ(自宅か学校の寮か、何階か、一軒家かなど)、部屋の中にあるものなどについていくつか項目を決めたインタビューシートを作成しておき、それを使ってクラスでインタビューしあう。</p> <p>◆結果をクラスで表にまとめる。【1-b,c】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> K高校の中国語クラスは、ハルビンにある交流校の日本語クラスと年に何度かビデオレターを交換し、交流している。交流校の生徒たちが夏休みに来日し、週末はK高校の生徒たちの家にホームステイすることになっている。来日前にホストファミリーの家と家族の紹介もビデオに収め、ビデオレターを作り、あらかじめ交流校に送っておくことにした。</p> <p><活動の流れ> ホストファミリーの協力を得て家の中の様子を撮影する。いくつかのグループに分かれて、それに中国語と日本語で説明を加え(各部屋の名称、部屋の中にあるもの、使い方の注意等)、それを交流校に送る。 ハルビンの生徒からは自分たちの家の様子を撮影したビデオが送られてくるので、それを見て家の環境・家のなかにあるものについて学び、中国語で質問ができるように表現、語彙を調べ、質問する練習をする。 交流校の生徒が来日しホームステイに来たら、お互いのビデオレターの内容をもとに両国の住宅環境などについて日中両言語で話しあう。 交流校の生徒の帰国後、クラスで住宅環境、特に、日中両国の住宅の共通点や相違点、住居に関する社会問題、住居と家族との関係などについて分かったことを出し合い、話し合ったあと、日本語でレポートにまとめる。</p> <p>ヒント☞ 交流校の生徒の来日やホームステイができない場合は、ビデオレターとそれを見た感想を文通あるいはメールで交換する。</p>	
<p><使用教材・教具> PC、インターネット、ビデオデッキ、ビデオテープ</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 这是我们的家。/这儿有厨房。/一层有一个大客厅、一个厨房、一个饭厅、一个洗手间和一个浴室。/楼上有两间卧室。/这是爸爸的书房，里面有很多书。/我有自己的房间。/我的房间里有一张书桌、一把椅子、一张床和一架书架。/这间屋子里没有空调。/我家在三楼。/这栋公寓没有电梯。/你现在住校吗？</p> <p><表現のポイント> 動詞“是”/助詞“的”/指示代詞“这儿”・“那儿”/動詞“有”・“没有”/名量詞/接續詞“和”/方位詞/動詞“在”</p>	<p>◆各部屋の名称や部屋の中にあるもの(家、房子、房间、屋子、客厅、卧室、厨房、饭厅、书房、卫生间、厕所、洗手间、浴室、洗澡间、阳台、窗户、窗帘、走廊、门、屋顶、楼梯、台阶、院子、衣柜、书架、床、书桌、电脑、录像机、DVD机、音像制品、组合音响、桌子、椅子、凳子、电视、电视柜、沙发、餐桌、洗碗机、热水器、冰箱、微波炉、烤箱、橱柜、抽屉、垃圾桶、吸尘器、灯、吊灯、台灯、水龙头、暖气、空调、被褥、被子、褥子、毛毯、枕头など)、公寓、宿舍、独栋房子、方位詞(上边、里面、对面など)、量詞(间、栋、楼、层、张、台、把など)</p>	<p><事象> ◆間取り ◆好まれる(好まれない)住環境 ◆部屋の使い方や部屋での過ごし方 ◆家具など部屋の中にあるものとその配置 ◆住居と社会や気候との関係 ◆家族と住居の問題</p> <p><事象のポイント> ◆間取りや好まれる(好まれない)住環境について、日中の共通点・相違点を比較考察する。 ◆玄関で靴を脱ぐか、浴室はどのように使うかなどについて比較考察する。 ◆社会現象になっている日中の居住問題について比較考察する。 ◆住居のあり方と家族との関係について考える(子育て、親子関係、二世帯住宅、バリアフリーなど)</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋		他教科の内容との連繋
交流校の生徒が作ったビデオレター		家庭科